学校番号	206

令和２年度　地理歴史科

教科	地歴	科目	世界史Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説世界史」　（山川出版）						
副教材等	グローバルワイド最新世界史図表（第一学習社） 新世界史要点ノート標準編（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この世界史B (3単位)では、広域な世界の歴史をタテ・ヨコで整理し、背景をとらえながら多角的に歴史的視点から思考し、考察してもらいます。膨大な情報量を暗記で乗り切るのではなく、流れと論理に重点をおいて学習を進めていきましょう。

２　学習の到達目標

① 世界の歴史への興味・関心を高め，主体的に探究していく態度を身につける。
② 世界の歴史の大きな枠組みと流れを，地理的条件や日本の歴史とも関連付けながら理解する。
③ 文化の多様性と現代世界の特質を多角的かつ広い視野から考察し，歴史的思考力を培う。
④ 世界史についての資料を適切に選択し，資料に基づいて考察した結果を適切に表現する力を身につける。
⑤ 現代社会が直面する諸課題について，歴史的観点から考察し，主体的な追究を通して認識を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史的・地理的事象に対する関心と問題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生きる態度を形成する。	歴史的・地理的事象から課題を見いだし，我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活･文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し,その知識を身に付けている。
評価方法	振り返り レポート 行動の観察	発表 行動の観察	教科書の活用 資料集の活用	定期テスト 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期(中間テストまで)	先史・古代史	・先史の世界 ・オリエントと地中海世界 ・アジア・アメリカの古代文明 ・内陸アジア世界・東アジア世界の形成	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:主に紀元前の古代世界の状況や特質について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:古代世界に成立した法律や制度について，その内容や意義を適切に表現している。 c:現代世界の起源となるものについて，資料を通して繋がりを追究する方法を身に付けている。 d:古代世界を構成した出来事や文化について，地域別に理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 小テスト 発表
前期(期末テストまで)	中世史	・イスラーム世界の形成と発展 ・ヨーロッパ世界の形成と発展 ・内陸アジア世界・東アジア世界の展開	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:イスラームや中世ヨーロッパなどの独自文化に関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:イスラーム世界とヨーロッパ世界の繋がりについて，多面的な視点により考察し，それについて適切に表現している。 c:イスラームやヨーロッパの社会や文化の特質について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取る。 d:イスラームや中国史に関する基礎的な情報や歴史の流れについて理解し，その知識を身に付けている	定期考査 小テスト 発表

後期(学年末まで)	近世・近代史	・アジア諸地域の繁栄 ・近世ヨーロッパ世界の形成 ・近世ヨーロッパ世界の展開 ・近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 ・欧米における近代国民国家の発展 ・アジア諸地域の動揺	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:産業革命，フランス革命など世界の歴史に大きく影響を与えた出来事に関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:一見独立している歴史事象を国民国家の形成という視点から大きく捉え，多角的に考察し，その繋がりを適切に表現している。 c:『アメリカ独立宣言』『フランス人権宣言』の比較などにより多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 d:欧米諸国の工業化の中心に各国の発展についての知識を身に付けている。	定期考査 小テスト 発表
後期(学年末以降)	近現代史	・帝国主義とアジアの民族運動 ・二つの世界大戦 ・冷戦と第三世界の独立 ・現在の世界	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a: 帝国主義が 2 度の世界大戦に繋がり，その後冷戦が始まる一連の過程ついて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: パレスチナ問題など現代に直結する課題を歴史的観点にもとづいて多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c: 第一次世界大戦から第二次世界大戦にいたる世界戦争の時代の国際社会の変遷について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取る。 d: 世界恐慌から 2 度の世界大戦に至る中で重要な転換点を中心に大きな流れを理解する。	定期考査 小テスト 発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。